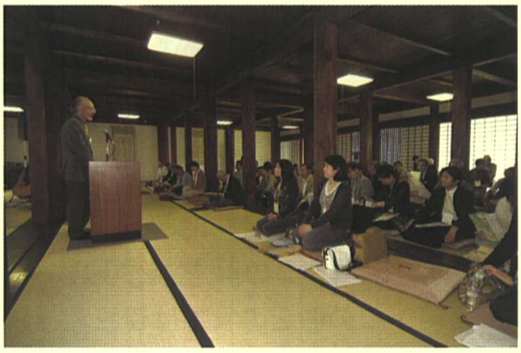
ＪＩＰＡ全国大会に参加しました！！

東條和子



平城遷都１３００年祭まっただ中の奈良で、ＪＩＰＡの全国大会が開催されました。

関西インテリアプランナー協会が、またまた綿密な計画を作成してくださいました。

世界遺産登録の元興寺禅室という古のインテリア空間での大会は一般にも公開され、ご住職の講和、語り部による民話、万葉博物館学芸員の方の講演など、この時にしか味わえない充足の時を過ごしました。国宝ということもあり、柱に寄り掛からない、など建物への配慮の注意があったのも面白い体験でした。

奈良県庁屋上では、夕暮れの奈良の街並みや東大寺などを背景に記念撮影をしました。

その後の懇親会も全国から多数のプランナーが集結し、交流の輪を広げました。

翌日は平城宮跡会場の見学後、４つのコースに分かれた見学会がありました。私は明日香コースに参加、子供のころから行きたかった石舞台や亀石など、案内人のお話を伺いながら、６キロもの行程をものともせず、楽しい旅でした。

平成２３年は１１月、秋に安芸の宮島で全国大会が開かれます。是非皆様もご参加を！！

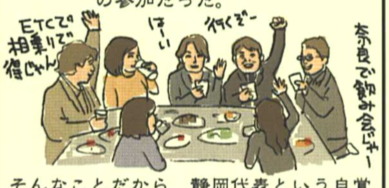
JIPA2010全国大会　JIPA in 奈良1300

あおによし 奈良の都の 無礼者

2010年　5月8日・9日

イラストレポート　吉沢千眞

発端は新年会二次会の酒の席。
酔った勢いで決まったJIPA 全国大会への参加だった。


ETCで相乗りで得じゃん
はーい
行くぞー
奈良で飲み会だぁー

そんなことだから，静岡代表という自覚は微塵もなく，動機が不純なのは明らかだった。関西IPAの皆さんごめんなさい。

元興寺

日本最古の寺といわれる法興寺（飛鳥寺）が平城遷都により奈良に移り、元興寺と名を改めた。

上の写真は極楽堂と呼ばれる本堂。
禅室は本堂の裏手にある。ともに国宝。

極楽堂と禅室屋根の一部には飛鳥時代・奈良時代の瓦や構造材にも当初のものが今もなお使われており、収蔵庫には様々な 国宝や重文が保存されている。

1998年12月、古都奈良の文化財として世界遺産に登録された。

当日は松浦車、井上車、新幹線組に
わかれて各々現地へ。
渋滞もなく快適ドライブ。

なので寄り道
伊賀の
ドライヴインの
「顔はめ」とか→
奈良天理の
パワースポット
石上神宮とか

伊賀ドライブイン
ようこそ 忍者の里へ

全くもって観光気分の面々

集合は奈良市内にある日本最古の寺
「元興寺（がんごうじ）」。
なんと国宝の禅室が講演会場。

さて不届者は何人いるでしょう

国宝なので柱や敷居に触れては
いけない。もちろん寄りかかってもいけない。

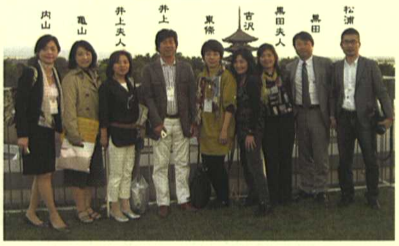
講演は住職のお話や民話の朗読など貴重な内容だったが、その心地よい語り口と早起きとで不心得者は舟を漕ぐ。そして修行僧のバーチャル体験かのような長時間の正座の苦行。

↑こんなかんじ
の人多し。

そして耐えきれず
講演途中で逃げ出
す卑怯者約二名↓

講演会後は奈良県庁屋上で記念撮影

奈良県庁の屋上は展望広場として開放されていて、
東は東大寺に若草山，南は興福寺に大和三山，
西側には生駒山と、360度のパノラマ。



今回の参加メンバー全員で
記念撮影。うしろに見えるのは
興福寺五重塔。
私のぼうし
ではない。

そして夜は交流会。
挨拶と交流に走りまわる我が静岡
IP協会の重鎮、東條氏
に比べて何も考えずに食べてばっか
りの無礼者たち。

交流会のあとは奈良駅前の居酒屋で宴会。
とても雰囲気の良い居酒屋でした。
この店を選んだ井上会長、就任以来のグッドジョブ
けっきょく旅の目的は 宴会なんだね

あおによし奈良の都は飲む酒の
におうがごとく今酒盛り中なり

二日目は奈良駅からシャトルバスで
十五分ほどの平城宮跡へ。
日曜日ということもあり、
会場は大変な人、人、人、人、人、人、人
人で、人の多さに
参る田舎者たち。
帰りの時間もあるしっ
てことで早々に会場を
後にする。

☆余談
この平城宮跡には、毎年八月、越冬
のために南に渡る関西中のツバメが
集結して、飛ぶ練習をするそうで、
その数なんと一万羽!!
みてみたい。

その後、井上車組は薬師寺方面へ
松浦車組は人口密度の少ないとこ
ろを目指し、若草山へ。壮大な景
色に、人酔いようやく収まる。

若草山

高さ342m、奈良公園の東端に位置する山。広々した山頂からは奈良市街はもちろん、生駒山や奈良盆地、京都方面も眺めることができる。　奈良公園よりも若干野性的な鹿もいる。

こうして二日間の日程を終え帰路に。
修学旅行以来の奈良、違った奈良を
覗けた気がします。
関西ＩＰ協会の皆様、
ありがとうございました。